

## 第5章 松山市の文化財の保存・活用に向けた将来像と方向性

### 1 松山市の目指す将来像

松山市では、穏やかな瀬戸内海と肥沃な平野、湧出する温泉という豊かな自然環境に人々が集い、暮らすことで、古来より様々な歴史文化が育まれてきました。これらの歴史文化は、第3章で示したように、3つの歴史文化の特性の基礎となる10のストーリーとして語ることができます。これらのストーリーは、松山が長い時間をかけて身に着けた「松山らしさ」ということができ、松山市に所在する文化財は、これまでの紡がれてきた歴史文化のストーリーを体現し象徴するもの、つまり、松山らしさを凝縮した結晶であるといえます。

この松山らしさの結晶である文化財を未来へと継承していくことは、松山市がこれからも松山らしくあり続けることにつながります。また、市民ひとりひとりがその継承に関わることで、地域全体でその未来を紡いでいくことにもつながります。そこで、本計画では、「松山らしさの結晶である文化財を知り、守り、活かして伝えることで、松山の未来を紡ぐ」を将来像に掲げ、市民ひとりひとりが文化財の価値を知り、その価値を守りながら、活用し、未来に伝えていくことで、松山らしくある未来を地域全体で紡いでいくことを目指すべき将来像とします。

—将来像—

**「松山らしさの結晶である文化財を知り、守り、活かして伝えることで、松山の未来を紡ぐ」**

## 2 将来像の実現に向けた計画の方向性について

本計画の作成に当たり、市民アンケートの実施やワークショップの開催、協議会での議論など松山市の文化財を取り巻く状況を調査しました。調査では、将来像を実現するためには、まずは文化財を知るためにその価値や現状を明らかにし、それを守り伝える取組を充実させることの必要性が明らかになったほか、文化財を守り、活かし、伝えていくための担い手への支援や、文化財に携わる人々の組織や体制を整え強化すること、文化財の価値を損なわずに地域の様々な活動の中で活かし、より多くの人にその魅力を伝えることの必要性が明らかになりました。

そこで、本計画では、これらの必要性を充足する文化財の保存・活用に向けた3つの方向性を掲げます。これら3つの方向性の推進に向けた課題を解決するための方針に基づいて、措置を実施していきます

—3つの方向性—

### 方向性1 文化財の保存、伝承に対する取組の充実

松山らしい未来を紡ぐためには、松山らしさの結晶である文化財の価値や現状を知る必要があるため、多様な主体と共にそれらを明らかにします。価値や現状が明らかになった文化財については、適切な保存のための評価や保護管理、適切な保存修理等を行い、後世に守り、伝えます。

### 方向性2 文化財の保存・活用の体制の構築と強化

松山らしい未来を地域全体で紡ぐためには、松山らしさの結晶である文化財の保存・活用の体制を構築・強化する必要があるため、これらに関わる組織の充実や関係者との連携に加え、担い手の輪を広げるための体制の構築と強化を行います。

### 方向性3 文化財を地域で活かすための普及啓発

松山らしい未来を紡ぐためには、松山らしさの結晶である文化財を活用する必要があるため、その魅力を教育、観光、まちづくりの分野で活かして伝え、市民ひとりひとりが文化財を身近に感じることが出来る取組を行います。